

## 平成30年度学校評価（後半）を振り返って

**学校評価にご協力ありがとうございました。**

平成30年度学校評価（後半）の集計結果をお知らせします。

今年度も保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）をアンケート形式でご協力いただき、保護者の皆様には全児童数の約96%のご回答をいただきました。ありがとうございました。

洛央小学校では「学びの深まりと広がりのある学校」を教育目標とし、「心やさしく 健やかに 大きな希望を胸に抱く子」をめざす子ども像として、教育活動を進めています。今回の集計結果を真摯に受け止め、来年度の教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えております。

**① 子どもは自ら学ぼうとしていますか。（保護者）**

**自ら学ぼうとしていますか。（児童）**

**子どもが自ら学ぶように支援していますか。（教職員）**

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	33.8%	51.4%	13.3%	1.5%
児童（高学年）	35.8%	50.3%	12.9%	1.0%
児童（低学年）	45.8%	40.1%	11.2%	2.9%
教職員	48.1%	51.9%	0.0%	0.0%

「自ら学ぶこと」については、前半に引き続き8割以上の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。前半は「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答した保護者や高学年児童が約17%ありましたが、後期は2%～3%減りました。

自ら学ぶことを進んで行う児童を育てるために、学習することが楽しいと感じられるよう授業を工夫したり、児童自身の興味関心を的確につかんだり、学習した成果を適切に認め励ましたりすることを来年度も継続できるようにしていきたいと考えています。

**② 子どもは嫌なことでも我慢して頑張ることができていますか。（保護者）**

**いやなことでも我慢して頑張ることができていますか。（児童）**

**嫌なことでも我慢して頑張ることができるよう支援・指導していますか。（教職員）**

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	25.3%	61.6%	12.4%	0.7%
児童（高学年）	41.3%	46.3%	11.3%	1.1%
児童（低学年）	54.0%	34.3%	9.1%	2.6%
教職員	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%

「我慢して頑張ることができる」については8割から9割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。前半は、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答された保護者の方が約18%ありましたが、後期は約13%とやや減りました。

「自ら律する力」をつけるためには、苦手なことでも我慢して粘り強く取り組み、最後までやり通すことが必要です。その過程の中で、児童の頑張りを認めたり、時には励ましたりしながら、大人も粘り強く関わったり、必要な支援をしたりすることが大切であると思います。来年度も、苦手なことをやり通した児童が、その頑張りを喜べるような指導や支援を目指していきたいと考えています。

③子どもは友達と力を合わせて活動することができますか。(保護者)
友達と力を合わせて活動することができますか。(児童)
友達と力を合わせて活動することができるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	47.5%	48.4%	3.6%	0.5%
児童(高学年)	54.1%	41.7%	4.2%	0.0%
児童(低学年)	53.8%	36.8%	7.6%	1.8%
教職員	70.4%	29.6%	0.0%	0.0%

「友達と力を合わせる事」については前半に引き続き、9割以上の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。非常にうれしく思います。また、「そう思わない」という回答も前半に比べて1%～2%減りました。

授業では小グループでの話し合い活動や同じ課題を解決するために協力して行う活動がありました。授業以外にも様々な場面で、お互いの力を必要とする場面が数多くあります。お互いを認め合いながら、来年度以降も力を合わせて活動を進めてほしいと思います。

④子どもは他の人に優しくすることができますか。(保護者)
他の人に優しくすることができますか。(児童)
他の人に優しくすることができるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	47.8%	50.0%	2.2%	0.0%
児童(高学年)	46.9%	45.1%	6.6%	1.4%
児童(低学年)	50.4%	40.2%	6.5%	2.9%
教職員	74.1%	25.9%	0.0%	0.0%

「他の人に優しくすること」についても、前半に引き続き9割以上の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。本校の目指す子ども像に「心やさしく」があります。学校だけでなく社会生活の様々な場面で「心やさしく」人に接することができる児童であってほしいと願っています。来年度も道徳や特別活動の時間を要としながら、やさしい心を育ていけるようにしたいと思います。

⑤子どもは自分のことを大切に思っていますか。(保護者)
自分を大切に思っていますか。(児童)
自分のことを大切に思えるよう支援・指導をしていますか。(教職員)

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	47.8%	48.8%	3.4%	0.0%
児童(高学年)	56.2%	34.0%	6.3%	3.5%
児童(低学年)	72.8%	18.2%	6.5%	2.5%
教職員	63.0%	37.0%	0.0%	0.0%

「自分のことを大切に思う」についても8割から9割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。前期と大きな変化はありませんでした。教職員の支援・指導については「そう思う」が前半に比べ増えていました。

一般的な発達段階を踏まえると、学年が上がるにつれて自分を客観視する視点が芽生えます。そうした時でも、児童本来の良さや可能性を具体的に伝えたり認めたりする、あたたかい関わりを目指していきたいと思います。

<b>⑥子どもは最後まであきらめずに取り組むことができますか。(保護者)</b>
<b>最後まであきらめずに取り組むことができますか。(児童)</b>
<b>最後まであきらめずに取り組むことができるよう支援・指導していますか。(教職員)</b>

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	27.7%	57.7%	12.9%	1.7%
児童(高学年)	42.4%	44.2%	10.9%	2.5%
児童(低学年)	52.8%	37.1%	7.6%	2.5%
教職員	51.9%	48.1%	0.0%	0.0%

設問②の「我慢して頑張ることができる」と同様には8割から9割の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。前半は、「あまりそう思わない」「そう思わない」は、保護者の方や高学年児童での回答割合が、比較的高いという結果でした。

我慢して粘り強く取り組み、最後までやり通すことは生き方にもつながります。最後まであきらめずに取り組む姿勢を身に付けられるよう、様々な場面で支援していければいいですね。

<b>⑦子どもは進んで運動していますか。(保護者)</b>
<b>進んで運動していますか。(児童)</b>
<b>進んで運動できるよう支援・指導をしていますか。(教職員)</b>

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	39.7%	34.9%	20.8%	4.6%
児童(高学年)	51.4%	32.0%	11.3%	5.3%
児童(低学年)	58.9%	25.1%	12.0%	4.0%
教職員	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%

「進んで運動すること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者、高学年児童、低学年児童の割合は、前半に比べるとやや減りました。ただし、進んで運動していないという児童は一定数いると思われます。

休み時間には外に出て活発に体を動かす児童がいる一方、読書をしたり、絵を描いたりすることが好きな児童もいます。健やかな成長のためには、運動をすることも大切です。体育の学習はもちろん、進んで運動できるような取組を来年度も考えていきたいと思えます。

<b>⑧子どもは好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(保護者)</b>
<b>好き嫌いせずバランスよく食べていますか。(児童)</b>
<b>好き嫌いせずバランスよく食べるよう支援・指導をしていますか。(教職員)</b>

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	32.0%	44.8%	19.6%	3.6%
児童(高学年)	44.7%	37.7%	14.4%	3.2%
児童(低学年)	43.6%	34.5%	16.4%	5.5%
教職員	55.6%	37.0%	7.4%	0.0%

「好き嫌いせずバランスよく食べること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した児童は約18%～22%と前半に比べてやや増えました。設問⑦と同様に、健やかな成長のためには、食事も大切な要素の一つです。学校給食では栄養のバランスを考慮して献立を作成しています。好き嫌いがあるのは当然のことですので、バランスよく食べられるような工夫や支援の仕方を来年度も考え、健康な体を維持できるような取組を進めていきたいと思えます。

**⑨子どもは安全に気を付けて生活することができていますか。(保護者)**

**安全に気を付けて生活することができていますか。(児童)**

**安全に気を付けて生活することができるよう支援・指導をしていますか。(教職員)**

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	39.4%	55.0%	5.3%	0.3%
児童(高学年)	56.4%	36.7%	5.9%	1.0%
児童(低学年)	61.3%	31.4%	5.5%	1.8%
教職員	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%

「安全に気を付けて生活すること」については、9割以上の回答者が「そう思う」「大体そう思う」という結果でした。安全に対する意識が非常に高いことがうかがえます。

実際に行動の様子を見てみると、交差点では信号をよく見て横断歩道をきちんと通る児童や落ち着いて歩いて登下校する児童の姿があります。しかし、一方でつつい歩道を走ってしまったり、歩道から外れてしまったりしている児童の姿を見かけることもあります。事故が起きてしまったからでは取り返しがつきません。安全に対する高い意識を実際の行動に表すことができるよう、来年度も指導を続けていきたいと思います。また、警察や子ども見守りたい、PTAなどの皆様とも協力する取組も今年度と同様に進めていければと考えています。

**⑩子どもが目標をもって学習したり生活したりしていますか。(保護者)**

**目標をもって学習したり生活したりしていますか。(児童)**

**子どもが目標をもって学習したり生活したりするよう支援・指導していますか。(教職員)**

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
保護者	26.8%	50.3%	20.7%	2.2%
児童(高学年)	40.2%	42.7%	11.5%	5.6%
児童(低学年)	48.0%	36.3%	11.8%	3.9%
教職員	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%

「目標をもって学習したり生活したりすること」については「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した保護者が約23%、高学年児童、低学年児童で約15%でした。授業では、どんなことを学習するのかを明確にして進めています。来年度も学習や取組において、どんなことを目指すのか、どのような力を付けていきたいのかを児童に示しながら、活動をしていきたいと思います。ご家庭でも学習や生活の中での目標についてお話いただく機会をもっていただければありがたいです。

